

- 問1 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げた「承久の乱」ののち、幕府が朝廷の動きを常に監視し、あわせて西国の武士を統制するために京都に設置した機関として正しいものを、次から選びなさい。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|--------|----------|
| 1. 管領 | 2. 六波羅探題 | 3. 大宰府 | 4. 京都所司代 |
|-------|----------|--------|----------|
- 問2 鎌倉時代末期に見られた「悪党」の活動と、その社会的な影響について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 江戸時代において、読み・書き・そろばんなどの実用的な教育を町人や農民の子弟に提供した。 | 2. 山城国において、国人や農民が協力して守護大名を追い出し、自治による政治を行った。 | 3. 豊臣秀吉による太閤検地を受け入れ、土地の石高に基づいた新しい税制の確立を支援した | 4. 幕府や荘園領主による伝統的な支配に反抗して武力を行使し、幕府の統治力を弱める要因となった。 |
|--|---|---|--|
- 問3 承久の乱の結果、鎌倉幕府が京都に六波羅探題を設置した主な目的と背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 九州地方の防衛を強化し、大陸からの元軍の侵攻に備えるための軍事拠点とするため。 | 2. 朝廷による倒幕の動きを未然に防ぐために監視を行い、西日本における幕府の支配力を強化するため。 | 3. 室町幕府の将軍を補佐し、京都の治安維持や行政を担う管領をサポートするため。 | 4. 全国の地頭が徴収した年貢の管理や、御家人同士の土地争いを裁決する専門の裁判機関とするため。 |
|--|---|--|--|
- 問4 鎌倉時代、地頭が荘園領主に納めるべき年貢を滞納するなど、両者の間で土地をめぐる紛争が激化しました。こうした状況下で、金剛三昧院に伝わる古文書などの記録に見られる、土地そのものを地頭と荘園領主で物理的に分割し、互いの支配権を明確に分けることで解決を図った仕組みを何と呼びますか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|----------------------------|-----------------------|---------------------------|
| 1. 農民の耕作権を保証しつつ年貢を確保する検注 | 2. 武士が土地を仲介して有力な御家人となる本領安堵 | 3. 一定額の年貢納入を請け負わせる地頭請 | 4. 土地を分割して地頭の直接支配を認める下地中分 |
|--------------------------|----------------------------|-----------------------|---------------------------|
- 問5 鎌倉時代後半、元寇（蒙古襲来）による軍役の負担や分割相続の影響で、多くの御家人が生活に困窮しました。幕府がこうした御家人を救済するために、彼らが売却・譲渡した領地を無償で取り戻させることを命じた法令を何といいますか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|----------|-----------|
| 1. 武家諸法度 | 2. 徳政令 | 3. 御成敗式目 | 4. 公事方御定書 |
|----------|--------|----------|-----------|
- 問6 モンゴル（元）の襲来を退けたにもかかわらず、その後の鎌倉幕府の支配が急速に揺らぐ原因となった背景として、正しい説明はどれですか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 襲来をきっかけに朝廷が政治の実権を取り戻し、幕府を倒すための兵を挙げたため。 | 2. 防衛に成功したものの、恩賞として与える土地が不足していたため、戦費で困窮した武士の不満が高まった。 | 3. モンゴル軍との戦いを通じて、武士たちが幕府よりも天皇を重視する考えを持つようになったため。 | 4. 幕府が防衛のために重い税を全国の農民に課したこと、大規模な一揆が各地で頻発したため。 |
|---|--|--|---|
- 問7 12世紀末に鎌倉幕府が成立して以降、それまでの天皇や貴族に代わって、土地を基盤とする武士が政治の実権を握って行われた政治形態を何と呼びますか。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| 1. 武家政治 | 2. 摂関政治 | 3. 律令政治 | 4. 院政 |
|---------|---------|---------|-------|
- 問8 鎌倉幕府が「六波羅探題」という機関を新たに設置した目的と、その背景にある出来事の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2016年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|--|
| 1. モンゴル帝国の襲来（元寇）に備え、九州沿岸の警備と西国武士の指揮を執るため | 2. 室町幕府の内紛である観応の擾乱を受け、京都の治安維持を専門に行うため | 3. 後鳥羽上皇が倒幕の兵をあげた承久の乱の後、朝廷を監視し西日本の統治を強化するため | 4. 源頼朝が征夷大將軍に任命された際、京都の公家との外交交渉を円滑に進めるため |
|--|---------------------------------------|---|--|
- 問9 1297年に鎌倉幕府が、土地の売買を禁止し、すでに売却された土地を本来の持ち主に無償で返却させるという内容の法令を出しました。元寇後の生活苦に陥った御家人を救済するために出されたこの法令の名称を答えなさい。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 武家諸法度 | 2. 公事方御定書 | 3. 永仁の徳政令 | 4. 慶安の御触書 |
|----------|-----------|-----------|-----------|
- 問10 北条泰時が制定した御成敗式目の中で、諸国の守護に課せられた職務として正しいものはどれですか。当時の条文には、御家人に京都の警備を命じることや、重大犯罪の取り締まりについて記されています。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|---|-------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 朝廷の政治を監視し、天皇の代替わりを管理する。 | 2. 御家人に京都の警備（京都大番役）を命じ、謀反人や殺害人などを取り締まる。 | 3. 全国の田畑の面積を調査し、農民から納められる年貢の額を決定する。 | 4. 諸大名の参勤交代を監督し、江戸の治安を維持する。 |
|----------------------------|---|-------------------------------------|-----------------------------|
- 問11 江戸時代の社会において、奉公人は主人から衣食住を保障される代わりに、主家のために労働を提供する「奉公」を行いました。この時代の商家の奉公人の形態として、幼少期から住み込みで働き、後に独立を目指す仕組みを表す用語の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2025年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 代官（だいかん）として、天領の年貢徴収や裁判を担当する | 2. 問屋（といや）として、周辺の農村に家内工業の原料を貸し出す | 3. 丁稚（でっち）から始まり、番頭（ばんとう）を経てのれん分けを目指す | 4. 地頭（じとう）の下で、名主（なぬし）として村の運営にあたる |
|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
- 問12 13世紀後半に元軍が日本へ侵攻した際、当時の様子を描いた絵巻物には、日本の武士が苦戦する様子が描写されている。元軍が用いた、当時の日本の武士には見られなかった戦い方の特徴として正しいものはどれか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|--|-------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 名乗りを上げてから一対一で戦う一騎打ちを基本とした戦術 | 2. 太鼓などの合図による集団戦法や、「てつほう」と呼ばれる火器を用いた戦術 | 3. 巨大な軍船を並べて海上に橋を作り、陸路から騎馬隊を突撃させる戦術 | 4. 鉄砲を組織的に利用し、防壁の背後から一斉射撃を行う戦術 |
|--------------------------------|--|-------------------------------------|--------------------------------|
- 問13 東大寺南大門に安置されている金剛力士像が制作された背景や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|---|-------------------------------------|
| 1. 運慶や快慶らが制作し、武士の気風を反映した力強い写実的な表現が特徴である。 | 2. 定朝が制作し、貴族の好みにあわせた優美で繊細な表現が特徴である。 | 3. 鞍作鳥が制作し、中国や朝鮮半島の影響を受けた幾何学的な衣のひだが特徴である。 | 4. 行基が制作し、民衆の安寧を願って作られた素朴な表現が特徴である。 |
|--|-------------------------------------|---|-------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 六波羅探題	承久の乱で朝廷側に勝利した鎌倉幕府は、乱の再発を防ぐために京都に強力な出先機関を置く必要がありました。それまでの京都守護を改組・強化する形で設置されたのが六波羅探題であり、北条氏の有力者がその職に就いて、朝廷の監視、裁判、西日本の統治という重要な役割を担いました。
問2	答え 4 幕府や荘園領主による伝統的な支配に反抗して武力を行使し、幕府の統治力を弱める要因となった。	鎌倉時代末期、所領をめぐる訴訟の増加や元寇後の社会不安などを背景に、幕府の統制に従わない武士たちが現れました。彼らは荘園領主から年貢を奪うなどの実力行使を行い、幕府がこれらを鎮圧しきれなかったことで、幕府の権威はさらに失墜し、後の倒幕運動へとつながる背景を形成しました。
問3	答え 2 朝廷による倒幕の動きを未然に防ぐために監視を行い、西日本における幕府の支配力を強化するため。	承久の乱において、朝廷軍を破った鎌倉幕府は、二度と同じような反乱が起きないように朝廷を厳しく管理しました。また、乱の後に西日本の貴族や寺社が所有していた領地を没収し、多くの地頭を任命したことで、六波羅探題を通じて西日本全体への幕府の支配力が大きく高まりました。
問4	答え 4 土地を分割して地頭の直接支配を認める下地中分	地頭による年貢の未進（滞納）や不法な土地占拠が続いた際、法的な訴訟だけでは解決できない場合があります。そのため、土地（下地）を折半したり分割したりして、一方は荘園領主、もう一方は地頭が完全に支配するという契約を結ぶ「下地中分」が行われ、結果として地頭の土地支配がさらに公認されることとなりました。
問5	答え 2 徳政令	鎌倉幕府は御家人の生活を支える基盤である領地（土地）を守るため、永仁の徳政令を発令しました。これは借金の担保として手放した土地を無償で返させるという強力な経済救済措置でしたが、結果として金銭の貸し借りが困難になり、社会経済を混乱させる原因にもなりました。
問6	答え 2 防衛に成功したものの、恩賞として与える土地が不足していたため、戦費で困窮した武士の不満が高まった。	当時の武士にとっての恩賞は、主に敵から奪った土地を分配することでした。しかし、元寇は外国からの侵略を退ける防衛戦だったため、新たに分け与える土地がありませんでした。多額の軍費を自己負担して戦った御家人たちは、十分な報いを受けられなかったことで生活が困窮し、幕府への不信感を強めていきました。
問7	答え 1 武家政治	源頼朝が鎌倉幕府を開いたことにより、政治の中心は朝廷から幕府へと移り変わりました。このように武士（武家）が主導権を持って国家を運営する仕組みは、その後の室町幕府や江戸幕府にも継承されていくこととなります。
問8	答え 3 後鳥羽上皇が倒幕の兵をあげた承久の乱の後、朝廷を監視し西日本の統治を強化するため	承久の乱以前の幕府は、主に関東を中心とした支配を行っていましたが、乱の勝利によって西日本にも大きな支配力を持つようになりました。朝廷による倒幕の動きを二度と許さないよう、監視の拠点として六波羅探題を設置し、西日本の地頭の統制や裁判も担わせることで、幕府による全国支配が強まるきっかけとなりました。
問9	答え 3 永仁の徳政令	元寇（蒙古襲来）の際に、恩賞が十分に与えられなかったことで困窮した御家人を助けるために発布されました。しかし、この法令により金銭の貸し借りが滞り、かえって御家人の生活が不安定になったほか、幕府の権威が低下する一因となりました。
問10	答え 2 御家人に京都の警備（京都大番役）を命じ、謀反人や殺害人などを取り締まる。	御成敗式目では、守護の権限を「大犯三箇条（だいばんさんかじょう）」と呼ばれる三つの職務に限定しました。具体的には、京都大番役の催促、謀反人の逮捕、殺害人の逮捕です。これは、守護が国司の権限を侵しすぎないように制限し、武士社会の秩序を保つ目的がありました。
問11	答え 3 丁稚（でっち）から始まり、番頭（ばんとう）を経てのれん分けを目指す	江戸時代の商家の奉公人は、子供の頃に「丁稚」として住み込みを始め、成長して実力を認められると「番頭」などの役職に就きました。長年の忠誠と奉公の結果、主人から商号の使用を許されて独立する「のれん分け」が、当時の奉公人にとっての大きな目標となっていました。
問12	答え 2 太鼓などの合図による集団戦法や、「てつはう」と呼ばれる火器を用いた戦術	当時の日本の武士は、一対一の「一騎打ち」を伝統的な戦い方としていました。これに対し、元軍は組織的な「集団戦法」を採用し、さらに火薬を使った「てつはう」という武器で武士や馬を驚かせるなど、日本側にはない新しい戦術で攻撃を行いました。当時の戦場を描いた資料でも、馬に乗る武士の集団に対し、歩兵が密集して戦う元軍の姿が確認できます。
問13	答え 1 運慶や快慶らが制作し、武士の気風を反映した力強い写実的な表現が特徴である。	源平の争乱で焼失した東大寺の復興にあたり、運慶や快慶ら慶派の仏師が起用されました。彼らは、それまでの貴族的な優美さとは対照的に、台頭する武士の好みに合う、筋肉の動きまでリアルに表現した力強い作品を残しました。